

# 中川運河再生のための「拠点」と「道」 — Nakagawa Network を求めて

中川運河再生の対象地域は帯状である。この形で三つのゾーンなど連携をとるためには連結の経済性を求めるネットワークの設計及び諸ネットワークの重ね合わせが鍵であると考えます。

これまでのフォーラムで注目してきた中川運河再生のためのネットワークについて、「道」、「拠点」の具体的効果を求めて、具体的なイメージづくり・アクションプログラムへ、みなさまとの意見交換をおこないながら進めていきたいと思っております。

まず、交通の役割について改めて考え、最近の交通をめぐるネットワークの動向をふまえながら、中川運河再生計画の水陸空の交通システムについて焦点をあてたいと思っております。

みなさまのご参加を歓迎いたします。

## 記

- （開催）市民と産官学フォーラム（第3回）：  
「中川運河運河再生のための「拠点」と「道」 — Nakagawa Network を求めて」
- （開催）日時： 2019年3月29日（金）17:00～20:00
- （開催）場所： 愛知大学名古屋（ささしま）キャンパス講義棟 701 教室
- プログラム：
  - 第一部（17:00～18:40） —
    - (1) 「名古屋の大静脈の可能性 — 道で繋がる地域空間の蘇生」  
（仮題）愛知県立大学 竹中克行
    - (2) 「ネットワークの「拠点」と「道」そして「情報」 — 交通に焦点をあてて」  
（仮題）愛知大学 大澤正治
    - (3) 質疑応答
  - 第二部（19:00～20:00） —

Nakagawa Network の掘り起こし、意見交換

なお、休憩時間には、よろしければ、各自、軽食をご用意いただきたいと思います。

- 主催： 愛知大学経済学部 大澤正治
- 共催： 都市コミュニケーション研究所
- 問い合わせ 申し込み  
愛知大学大澤正治 Email : osawa@vega.aichi-u.ac.jp